

普及活動情勢報告（平成28年1月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

情勢報告

今年はいくら儲けたかな・・・？・・・荷稻米・米クラブ定例会・・・	
	1月12日に黒潮町佐賀の（農）荷稻米・米クラブの事務所で平成28年度総会に向けた役員会が行われました。
	平成27年度の事業及び収支実績、農作業状況の確認や、平成28年度の事業及び収支計画を協議した後、農業改良普及課より、総会資料の様式や経営収支・栽培実績等のまとめ方について提案しました。
	今年度ニラハウスを新設し、春から周年雇用を計画しており、農業改良普及課では、関係機関と協力して組織運営に向けた支援を行っていきます。

地元未利用資源を有効活用しよう！・・・大規模志向農家研修会・・・	
	1月21日、宿毛市平田町で大規模志向農家のネットワークメンバーを含む露地野菜栽培者を集め、草木灰肥料の有効利用に向けて研修会を開催しました。
	会には16名が出席し、草木灰肥料の成分や製造工程について株式会社グリーン・エネルギー研究所から説明があった他、製造現場及び散布圃場（ブロッコリー）の視察が行われました。
	農業改良普及課からは、露地野菜複合経営のモデルを紹介し、規模拡大によって経営安定を図ることを提案しました。
	今後も、露地野菜生産者の経営安定のために技術支援をしていきます。

高品質の出荷を目指して・・・JA高知はた西土佐支所ナバナ部会目合わせ会・・・	
	1月18日から21日まで、JA高知はた西土佐支所ナバナ部会現地目合わせ会が12地区で行われ、合計94名が参加しました。
	当部会では今作から、包装資材をスチロール箱からパーシャル包装技術を利用したダンボール箱に切り替えることとなり、詳細な手順がJA職員から紹介されました。
	農業改良普及課は、今期多発した死花や軟腐病について、その原因や今後の対策について説明しました。今後の需要期に品質の良いナバナを出荷できるように、肥培管理の徹底を改めて確認することができました。
	今後も収穫から出荷調整までの作業について注意喚起をしていきます。

オクラ産地の振興・・・JA 高知はた大月及び中村支所オクラ部総会・・・



JA 高知はたオクラ部会は、1 月 13 日に大月支所、18 日に中村支所において総会を開催し、合計約 30 名が参加しました。

総会では、販売状況等から今作を振り返り、収量の増大及び品質の向上に向けて討議しました。

農業改良普及課からは、セルトレイ苗を活用した移植栽培について、これまでの取り組み結果や来年度の計画について説明しました。

農業改良普及課では、移植栽培のメリット、デメリットを十分に理解したうえで取り組めるように、今後も講習会等を実施していきます。

エコシステム栽培への移行・・・JA 高知はた中村支所露地シントウ反省会・・・



12 月 24 日、JA 高知はた中村支所露地シントウ部会は今年の栽培について反省会を行い、15 名の参加がありました。

反省会では、高知県園芸連のエコシステム栽培の導入を賛成多数で可決し、次年度から露地、雨除けともにエコシステム栽培へ移行します。

農業改良普及課からは、青枯れ病抵抗性台木「チャガマラン」の活用方法や天敵利用について説明しました。

農業改良普及課では、天敵の活用等の環境保全型農業を推進しており、今後も活動を支援していきます。

佐賀ならではの加工品を作ろう・・・6 次産業化に向けて試作品作り・・・



1 月 16 日、黒潮町佐賀北部集落活動センターにて、佐賀北部活性化推進協議会食部会のメンバーが 5 回目の試作品作りを行いました。試作品を試食した後、改良点や地域産物に変更できる食材などについて話し合いを行いました。

メンバーからは、「ユズ酢をユズに、ラッカセイをゴマに変えたらどうか」という声がありました。

今後も農業改良普及課では、松田アドバイザーや佐賀温泉の料理長のアドバイスをもとに、味の調整を行い、山と海の食材を使った商品作りに向けて支援していきます。